

明るく元気の出る町

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

平成7年10月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

東由利町
1995 10
NO. 487



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

がんばれ 父ちゃん!
9月9日・永慶保育園運動会より

第六回議会定例会は九月十九日に招集され、平成六年度東由利町一般会計決算認定案など十六議案を原案どおり可決、認定しました。

十九日の本会議では、会期を二十九日までの十一日間と決めた後、阿部幸悦町長の行政報告、二氏の一般質問に引き続き、町入湯税条例など二議案を原案どおり可決、平成六年度各会計決算認定案、陳情などを委員会に付託しました。翌二十日から委員会審議を行い、最終日の二十九日、助役選任案など六議案を原案どおり可決、平成六年度各会計決算を認定し閉会しました。

子牛市場

8月比、8万円の高値

稲作は作柄が心配

行政報告

9月定例議会



▲大雨のためものすごい流れとなった河川



▲行政報告する阿部町長

八月十五日現在の県内の作況指数は98の「やや不良」と発表されました。町内の作柄は九月十四日の現地調査の結果、日照不足や倒伏などにより、平年を下回ると予想されます。収穫時期は五日から七日ほど遅れるものと思われ、全町的にいもち病が発生していることなどから大変心配しているところです。

大雨の被害は3億2千万円

国庫補助事業による防火水槽は、下吹、十二ノ前に完成、今後、八日町、湯出野、横小路に設置する予定です。向田、泡ノ瀬地区から要望のあった消防団緊急伝達装置は八月、

向田地区に完成しています。防犯灯は、黒瀬ほか十五か所に設置しました。

八月末現在の検診受診状況

河川災害一一か所、林道災害一か所となっています。一方、

今年の水稻作付状況は、あ

きたこまちが八一・六六%（八三・五六%）、ササニシキが二三一・七六%（一二・六六%）、この二品種で全体の九六・一四%を占めています。九月十二日現在の転作率は、目標面積に対し一一五・一四%、指標面積を含むと一〇〇・一五%となります。

日の大雨による被害額は調査の結果、三億一、一〇〇万円となりました。このうち、公

共土木施設の被害額は、一億三、三〇〇万円、道路の法面崩壊、路肩決壊などが十か所

農業用施設の被害額は、一億八、八〇〇万円、稻の倒伏、冠水など五六九か所、水田、畑の法面などの崩壊一四一か所、水路、農道の崩壊二二六か所となっています。

人間ドック二四〇人、結核検診一、九三五人、大腸ガン検診五人、胃検診七二人、大腸ガン検診五人となっています。

八月、十五、十六日、二十五、二十六



▲心配される稲作

期待の無人ヘリ防除は23タールク

二期目の初定例議会となつた阿部幸悦町長、行政報告に先立つて就任のあいさつをしました。

“出る町”確立に向けて努力してきました。

いる人が誇りを持てる町にする
よう頑張る覚悟であります。

較して八三、七七四円、四月と比較すると七〇、一二四円高くなっています。この価格

八月二十日から新しい任期をいただき、

町長が議会で就任あいさつ

可能性、魅力ある町に

▲面積増となつた航空防除

増。期待の無人ヘリ防除は二三ヶ所となりました。

九月の家畜市場は、

平成六年九月、本町で初めて発見されたマツクイムシは、現地調査をしながら駆除しているところですが、今年度はこれまで四六本を駆除、今後はさらに三〇本の駆除を予定しています。

県の新規就農者として平成四年から本町で農業を行つていた永島誠さんが、九月一日をもつて撤退することとなり

援を③未認定河川の災害復旧の対応と早期認定を④県道仁賀保矢島館合線早期完成を

初日に行われた一般質問では、二氏が農業問題など八項目にわたり阿部幸悦町長の考え方をただしました。概要は次

小松賢議員 ①新食糧法による転作指導の徹底を②町産「あきたこまち」のPRに支



▲早期整備が望まれる県道仁賀保矢島館合線、
茶屋長根崎

一般質問

家指導を行つており、行政としても側面から出来る限り援助したい②同感である。町単独でどの程度までできるか検討してみたい③河川とは河岸が一メートル以上で、耕地や宅地があることが条件。災害の認定は河川認定とは関係なく被害額が三〇万円以上であれば採択される。④同線の延長は五五メートル、このうち、通行不能期間が四十五メートルほどあり、本町分は

県に働きかけて行く
小松慎一議員 ①新食糧法施行による行政の対応は②水稻直播き栽培普及の考えは③高齢者の通院、入院時の食事代在宅介護のさらなる支援の考え方は④旧館前小（現JA玉支所店舗）の保存を
町長 ①わが町はこれから牛も農業が基幹産業であることに変わりない。現場にとつても農家にとつても良い方向に

ら検討してみたい③今後の福祉施策は「できる負担はする」方向へ進む。福祉のばらまきではなく、一つ一つていねいに進めて行きたい④文化財や建築学の観点では保存されるようなものではないらしいが、当時の地域住民の教育への情熱を大切にするということに同感。まず、図面等の整備を考えてみる。

て来ましたが、一健康に自信をなくした」ということであり、農業を継続できないということです。誠に残念であります。JAがきめ細かな農

いと考えています。

事のため、工期を九月三十日に変更しています。十一月のオープンに向けて順調に業務が進められています。

町長就任以来、①長寿社会を
共に寿ぐ町②山紫水明の里づく
り③産業の振興④人材育成ーの
四本柱を中心に 明るく元気の
ました。本人、本人の父、県、
町が再三にわたり協議を進め

た町もあります。周辺四万都市の真ん中にある地理条件やボツメキの水をはじめとする恵まれた自然条件を生かし、住んでいますが、今後は、関係機関と協議しながら処理して行きた

いきたいと考えております。よろしくご指導くださいますようお願いします。

しい任期をいただき、
一言ごあいさつ申し
就任あいさ

可能性、魅力あ

町にため、これまで以上に議員各位とも町づ

とに同感。まず、図面等の整備を考えてみる。

主な議案

入湯税条例を制定



▲9月19日から11日間の会期で開かれた9月定例議会

九月定例議会には、十六議案が提案され、全案件原案どおり可決されました。主なもののは次のとおり。

入湯税を条例化 一人一日百五十円に

温泉保養センターの開業に伴い、入湯税条例を制定しました。入湯税は、鉱泉浴場の

入湯に対する課税するもので、税率は、入湯客一人一日につき百五十円。十二歳未満の方には課税されないことになります。

小松久男助役 再任され2期目に



小松久男助役

任期満了に伴う助役の選任では、小松久男氏の再任に同意しました。

決議 中、仮核実験に反対

小松氏は六十二歳。町役場主幹兼建設課長を経て、平成三年十月から在任、現在二期目。選任月日は十月一日付で、任期は四年です。

決議

財産区管理委員を選任

任期満了の玉米財産区管理

委員七人の選任に同意しました。横山廣一氏（六九歳・向田）、佐藤公一氏（七三歳・大吹川）、古関三郎氏（七一年・松柴）、小野庄治氏（五歳・松柴）、畠山良一氏（六九歳・下小路）、嶽石文男氏（六九歳・五海保）、八嶋祝雄氏（四九歳・黒瀬）。

任期満了に伴う町教育委員の選任では、小松正武氏（五〇歳・高戸屋・新任）に同意しました。

人権擁護委員 3人の推薦に同意

任期満了に伴う人権擁護委員候補者に佐藤恒悦氏（館西）、小松幸子氏（新町）、佐々木悦夫氏（大琴）の三人を法務

任期は、十月二十日から三年間です。

六年度決算を認定

歳入総額四十七億円余り

歳入総額四十七億四千三百十三万三千三百六円、歳出総

ロア環礁での核実験再開や今後の計画中止を求めています。なお、町議会の決議文は、中国、フランス両大使館に送られました。

満場一致で可決しました。

県立大学誘致を推進

県が現在設置を計画している「県立総合大学」を本荘由利圏域に誘致推進する決議を満場一致で可決しました。

決議文では、中国の五月、八月の二回にわたる核実験に抗議、また、フランスのムル

教育委員に 小松正武氏

大臣に推薦することに同意しました。

平成七年度一般会計予算に二億八千四百六十万一千円を追加し、総額を五十億二千三百七十六万一千円としました。主なものは△温泉保養センター外構工事六千四百八十万六千円△団体営農道整備事業費一千九百二十四万三千円△林道新設改良費一千五百五十一万八千円△農業用施設災害復旧費三千八百十三万七千円△公共土木施設災害復旧費一億二百八十八万七千円。



小松正武氏

（決算の概要は五頁に掲載）

額四十五億六千六百十八万九千二百四十六円の平成六年度一般会計決算ほか七特別会計決算を認定しました。

平成七年度一般会計予算に二億八千四百万円余り追加

総務常任委員長の決算審査報告

決算審査報告する
遠藤忠平委員長

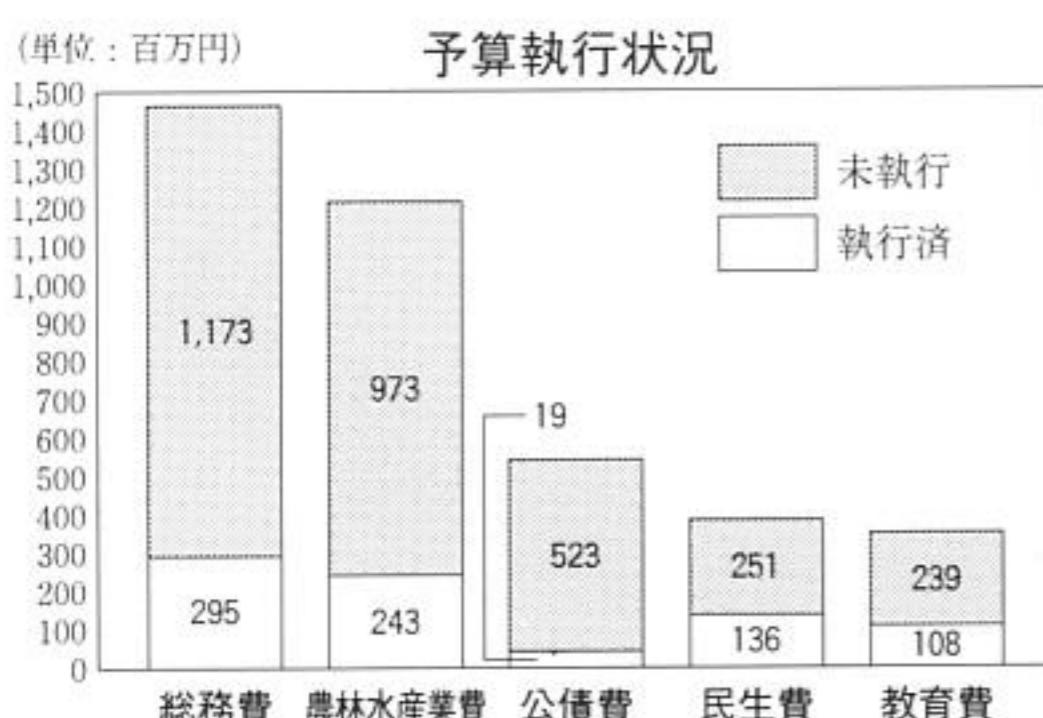
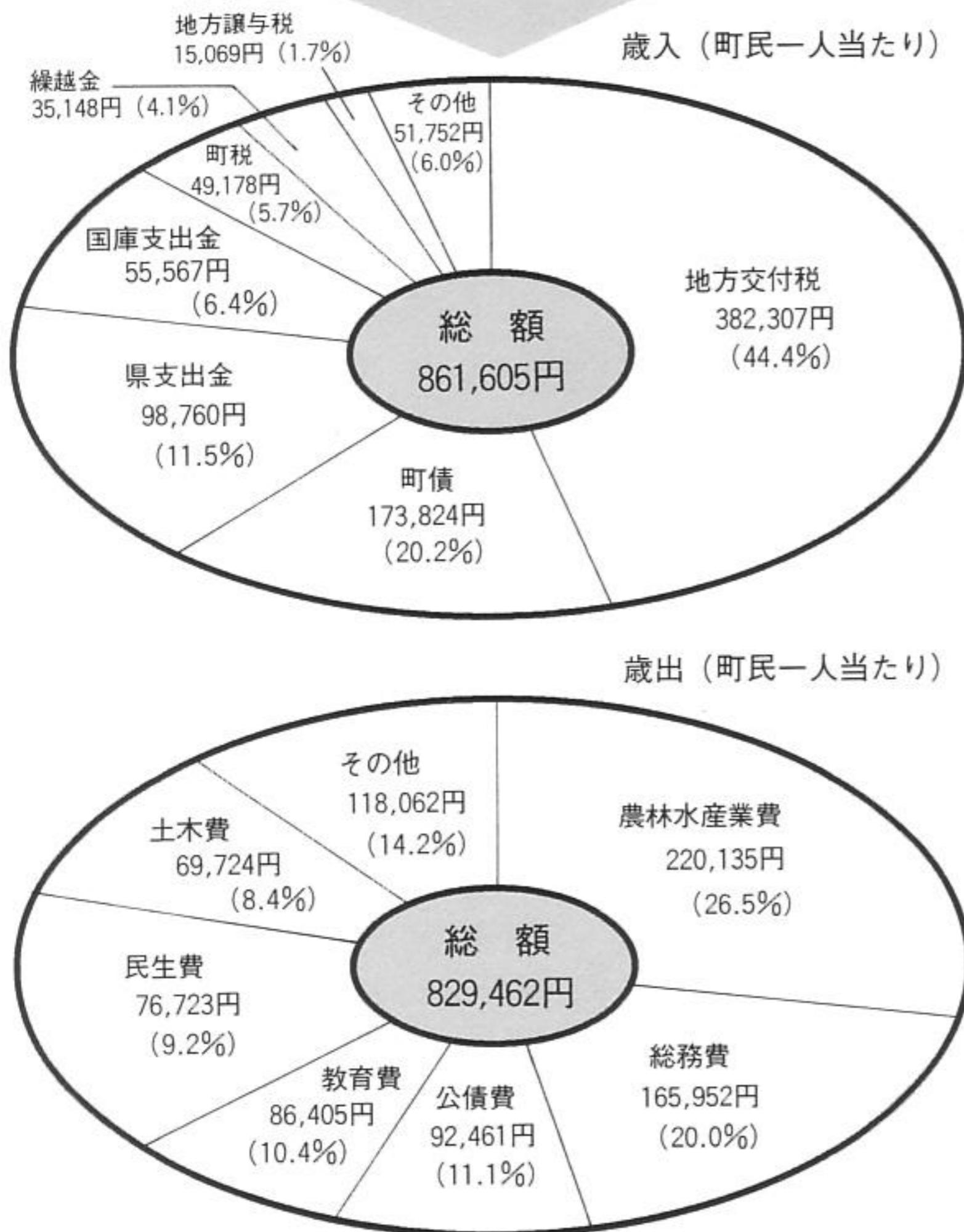


議会最終日の九月二十九日、遠藤忠平総務委員長が付託されていた平成六年度一般会計歳入歳出決算ほか七特別会計歳入歳出決算の審査結果について、「原案どおり認定すべきもの」とし、要約次のような報告をしました。

「地域活性化拠点施設整備事業を中心とした歳出決算中の投資的事業の割合が四三・五

パーセントを占め、社会資本整備に積極的な財政投資が行われた。しかし、八五・二パーセントを依存財源に頼る財政力の体質は変わつておらず、現下の経済状況から将来を見通し、経常経費の一層の節減に意を払うべき」また、「本町では、なお社会資本整備の立ち遅れがあり、充実整備に今後とも投資的事業への積極着手が必要。公債費の累増が見込まれることから長期的展望に立ち健全かつ効率的財政運営に一層配意すべき」。

平成6年度決算状況 町民1人当たり83万円



平成7年度予算執行状況 22%の執行率

八月末現在の平成七年度予算執行状況は、一般会計の歳出で二二一パーセントとなっています。主な経費は次のとおりです。

建設基金は、目標年次を特定し計画的な予算措置で基金の増額を配慮すべき。

二、老人保健関連事業費中、不用額として決算し、債務を翌年度へ繰り越す事態となつ

た経費は、会計年度独立の原則に違反し極めて残念。再発防止に取り組まれたい。

三、健康増進センター運営委員会の組織がほとんど機能していない中で予算措置を行

い、その改善を試みないまま不用額としている。強く反省を望みたい。

四、畜産振興関連補助金中、補助効果が疑問視されるものも見受けられる。行政支援効果が評価できるよう補助対象や内容の整理を検討すべき。

五、町総面積の七割以上を占める山林資源の有効活用策や林業振興策に創意工夫を凝らし、交流人口の増加にも結びつくような施策の充実を図るべき。

六、河川災害の未然防止に必要箇所の調査など対応策を検討するとともに、洲浚い等働きかけを強め、町としても必要な予算を措置すべき。

決算審査過程での指摘、要望事項は次のとおり。

50人委員会委員名簿

(9月現在、順不同、敬称略)

| 区分 | 自治会等 | 氏名 |
|------------------|--------|-------|
| 議会 | 議長 | 阿部剛 |
| 農業委員会 | 会長 | 鈴木和夫 |
| 教育委員会 | 委員長 | 小松順之助 |
| 民生児童委員会 | 総務 | 渡辺秋雄 |
| J A 東由利 | 組合長 | 阿部和雄 |
| 商工会 | 会長 | 大沼武且 |
| 森林組合 | 常任委員 | 小松文一 |
| 社会福祉協議会 | 会長 | 梅津嘉一郎 |
| 事業主協議会 | 会長 | 川尻幾郎 |
| 郵便局 | 老方郵便局長 | 長谷山博昭 |
| 農林業 | 地下ノ沢 | 長谷山憲一 |
| | 向田 | 横山玉一 |
| | 高戸屋 | 小松芳久 |
| | 家ノ下 | 小畠正裕 |
| | 新町 | 金子拓雄 |
| | 岩館 | 阿部陽悦 |
| | 新処 | 工藤実 |
| | 大琴 | 佐々木精人 |
| | 田代 | 小松佳和 |
| | 宇戸坂 | 佐藤知泰 |
| 商業・製造業 サービス業等 | 下小路 | 畠山豊隆 |
| | 五海保 | 遠藤益子 |
| | 新町 | 長沼久利 |
| | 下通 | 佐藤達男 |
| | 蔵 | 伊東一夫 |
| | 湯出野 | 佐藤和彦 |
| | 上通 | 小林慎子 |
| | 藏新田 | 小野行子 |
| | タ | 阿部重雄 |
| | 舟木 | 大庭忠幸 |
| 青年・婦人層 | 大台 | 木島金男 |
| | 家ノ下 | 遠藤卓哉 |
| | 蔵 | 畠山鋼 |
| | 大琴 | 木島千世子 |
| | 須郷 | 武田キワ子 |
| | 石高 | 小松トミ子 |
| | 五海保 | 小松五緒子 |
| | 館合新田 | 高橋佳子 |
| | 上通 | 藤原富貴子 |
| | 下通 | 大坂イヨ |
| 地域づくり グループ等 | 湯出野 | 長谷山保子 |
| | 藏新田 | 伊東チヤ子 |
| | 小倉 | 遠藤トミコ |
| | 舟木 | 大庭テツ子 |
| | 下小路 | 小野要造 |
| 合計 | 横渡 | 小野豊二郎 |
| | 石高 | 長谷山光 |
| 地域づくり グループ等 | 横小路 | 高橋賢太郎 |
| | 上里 | 小野克弘 |
| | 新処 | 遠藤真吉 |
| 合計 | 50人 | |

た。昭両氏を選任しました。

「地域活性化推進会議（通常五十人委員会）」が九月十日、メンバーが交替、再スタートしました。

活力ある町づくりを推進しようと平成五年二月に発足し

た五十人委員会は、温泉、道の駅など町活性化拠点施設を中心議論が進められてきました。これまで、機関や団体の役職を中心にメンバーを選定していましたが、多くの

方々の意見を取り入れようとした職域、地域、年代、性別などを考慮、五十人の新しいメンバーでスタートすることになりました。

初会議では、最初に阿部幸トした五十人委員会は今日、第二次としてスタートする。

今年は、町の憲法とも言うべき開発基本構想見直しの年に当たっており、その策定について多くの意見をいただきました。

皆さんに出席願った。今年度四回程度の会議を予定して

いるので、活発な議論をお願いしたい」とあります。引き続き委員を代表して小松五緒子さんに委嘱状を交付、座長団に佐藤知泰、長谷山博

50人委員会

第一回委、スタート

認定農業者に31人

平成12年まで
110人を認定

町では九月一日、平成七年度認定農業者に三十一人を認定、九月十四日に認定証の交付式を行いました。

認定農業者制度は、地域の核となる農業者の育成を図ろうと行われているもので、年間農業所得七百万円、労働時間一千八百時間を目標にしています。

今年度認定に当たっては、町、農業委員会、JA東由利などが申請の出されていた農家を対象に、農家個々の経営内容や今後の目標数値の設定



▲第2期の認定農業者に認定証を交付

担当の町産業課と農業委員会では「平成十二年まで百十人の認定農業者を認定する考らないようにしたうえで認定したものでした。

などを事前に指導。農家から出された農業経営改善計画書が「絵に書いたモチ」に終わらないようにしたうえで認定農業者のいない地域への誘導

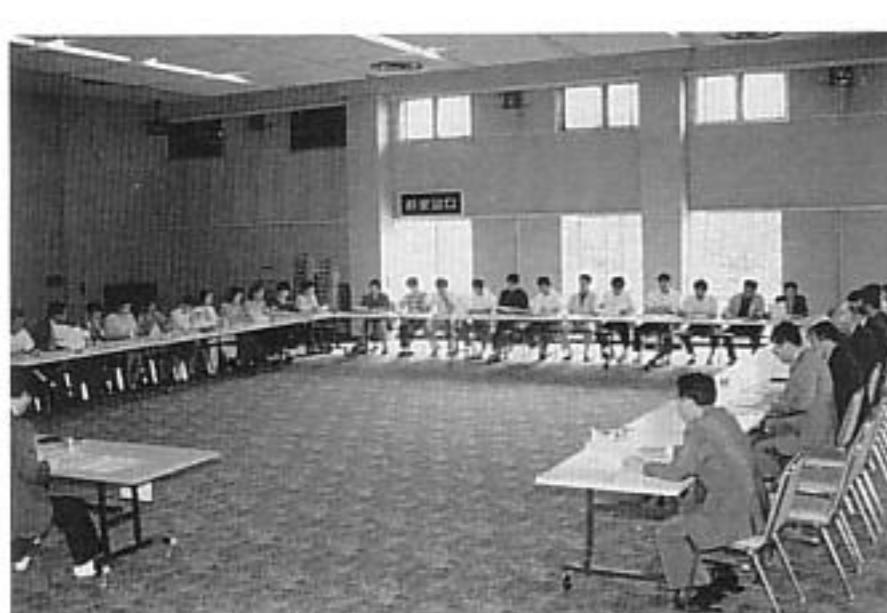
え。今年度認定者を含め八十人の認定農業者が誕生したことになるが、今後は、認定農業者のいない地域への誘導

を図ると共に、規模拡大や法化への移行も検討したい」としています。

農業経営改善計画認定者 (第2期7年度認定)

(敬称略)

| 自治会 | 氏名 | 自治会 | 氏名 |
|-----|-------|------|------|
| 黒瀬 | 八嶋祝雄 | 藏新田 | 阿部隆一 |
| 智者鶴 | 横山一郎 | 岩館 | 阿部敏夫 |
| 泡ノ瀬 | 佐藤良一 | タ | 阿部陽悦 |
| 石高 | 畠山洋 | 横渡 | 伊東剛 |
| タ | 横山隆一 | 新処 | 工藤実 |
| 畠山昇 | 高村 | 伊東茂雄 | |
| タ | 斎藤眞一 | 須郷 | 高橋伸 |
| 時雨山 | 小野久隆 | 大吹川 | 佐藤謙一 |
| 山崎 | 小松建一 | 大台 | 小松仁 |
| タ | 小松忠孝 | 下吹 | 畠山清雄 |
| 八日町 | 嶽石嘉規 | 舟木 | 大庭幸夫 |
| 宇戸坂 | 畠山芳一 | 宿 | 遠藤実 |
| 松柴 | 高橋誠一 | タ | 小野邦一 |
| 板戸 | 小野寺武夫 | 大琴 | 梅津嘉人 |
| 久保 | 下田悟 | 大吹川 | 畠山英昭 |
| 藏新田 | 遠藤誠喜 | 計 | 31人 |



▲再スタートした50人委員会

事務局の町企画課職員がこれまでの経緯と温泉施設等の概要を報告した後、平成八年度から十年後の平成十七年までの概要を説明、これを中心に意見交換が行われました。



▲式典の前に記念撮影

金♥婚おめでとうございます

(敬称略)

| 自治会名 | ご夫婦の氏名 | 年齢 |
|------|--------|----|
| 袖山 | 高橋 民治郎 | 72 |
| | クミ子 | 70 |
| 五海保 | 莊野 高 | 69 |
| | ミヨ | 69 |
| 横小路 | 畠山 友一 | 76 |
| | アイ子 | 70 |
| 下通 | 小野 正義 | 74 |
| | 徳 | 71 |
| 上里 | 小野 市四郎 | 67 |
| | トキ | 68 |
| 蔵 | 阿部 寅静 | 81 |
| | ナミ | 73 |
| 蔵 | 小松 一男 | 77 |
| | キオ | 69 |
| 蔵新田 | 伊東 隆 | 70 |
| | リツ | 69 |
| 新処 | 佐藤 太一郎 | 68 |
| | ミツ | 69 |
| 新処 | 遠藤 熊太郎 | 69 |
| | タカ子 | 66 |
| 十二ノ前 | 阿部 重一 | 69 |
| | ミツ | 69 |
| 宿 | 遠藤 聚一 | 68 |
| | 民子 | 67 |

金 婚 式

いつまでも
お幸せに

共に支えた50年は一人

ひと
しお

平成七年度町合同金婚式が
九月十四日、有鄰館で行われ、
案内者十二組のうち九組の夫
婦と二人が出席しました。

金婚式は、昭和四十三年九
月十五日、敬老行事の一環と

して東由利村が郡内で最初に
実施。翌年からは、七十歳以
上の方を対象にした敬老会と
合同で行うようになりました。一昨
年まで続けられていました。

昨年からは、金婚式の対象と
なっても敬老会の対象となら
ない人がいたり、結婚して五
十年のお祝いと敬老会とは別
のものではといった意見があ
り、町では、敬老会を六月に、
金婚式を九月に行うことにつ
いたものです。

式典では、最初に阿部幸悦
町長が「二人とも健在で五十
年を迎られ、お慶びも一入

お互い支えあってきた皆さん
にとつて、今日は私たちが想
像もできない感慨のこととお
慶び申し上げます。これを一
つの通過点として、いつまで
も健康で長生きしてください」と
お祝いの言葉を述べました。

その後、金婚を迎えられた
ご夫婦に「永年にわたり相睦
み心身ともに円満な家庭をつ
くり町発展に寄与されました
心からお祝い申し上げます」と
書かれた祝い状とツルの刺
しゅう入りダウンベストが記
念品として贈呈されました。

祝宴では、これまでの苦労
話を交えながら、お互いにい
つまでも長生きしようと交流
を深めていました。



▲阿部町長が祝い状を贈呈

町長阿部幸悦

日記

熱い期待に応えよう

わが町初の第三セクター、「黄桜の里」の社員辞令交付と入社式を九月一日に行いました。これで二十二名の社員全員が揃つたことになります。幹部社員が五名。三月の新卒者の募集では、二名の内定者がいました。八月からの第二次募集には四十九名の皆さんから応募して戴きましたが十五名の採用にしました。張り切つて応援してやろうと応募戴きながら今回採用できなかつた皆さんには心からお礼を申し上げると共に、

別の面からの応援をお願い申し上げます。社員の年齢は十九歳から四十三歳で、前壁もイロイロです。入社式では「わが町活性化の拠点である株式会社『黄桜の里』の社員として、町民の熱い期待に応えるよう、心を引き締めて頑張ってほしい」と訓辞しました。

幹部社員以外に何人かの経験者はおりますが多くの社員はサービス部門では全くの素人です。サービスと門は何かからはじまり、訓練を重ね、

よう

十一月の開業までにそれらしい行動ができるようになつてもらわなければなりません。九月八日から二週間という短い期間ですが八幡平のホテルにお願いしてサービスの初歩から勉強してもらいました。厳しい訓練に耐えた成果を生かし、私達の大きな期待に応えてくれるよう願っています。「湯楽里」「やしお」の整備も順調に進んでおり、十月はじめからは社員が施設内で研修を行うことになります。また、パートをお願いした十一人の皆さんにも訓練に入つてもらうことになります。それぞれの社員が自分の持ち場をしっかりと

監視し十分な仕事ができるよう期待しているところです。



▲新入社員1人1人に辞令を交付

新入社員 17人を採用

樂里　お食事処一やしお
道の駅の運営管理を担当します。

湯楽里・やしお

日は温泉無料開放

黄桜温泉
湯樂里
もくらの
株会社
黄桜の里
お食事処
わいしょ

株式会社黄桜の里は九月一日、平成七年度入社式を行い新入社員十七人に辞令を交付しました。

が減少傾向にある現在、国道107号の交流人口を町活性化の原動力にしようとこの事業に取り組んだ。皆さんの若い力に期待し、お互い精一杯頑張り合おう」とあいさつ。新入社員は、気持ちを新たに

採用された十七人は、八幡平リゾートホテルで接客業務などの研修を行った後、営業活動などを通して業務内容を把握、十一月のオープンに備えることにしています。

していました。

9・ひがしゆり

大琴に53馬力の小型ポンプ

町では八月三十一日、大琴地区を管轄する町消防団第五分団一部二班（佐々木安彦班長）に町内では最大の五十三馬力の小型動力ポンプ付積載車を配備しました。

町消防団は、五つの分団、二十の班で組織され、小型動力ポンプ付積載車十五台、ポンプ車五台があります。

町では積載車と、小型ポンプの老朽化に伴い年次計画で更新しており、今回購入した積載車は、六人乗りで、荷台にスロープを取り付けポンプの出し入れが便利になつていいほか、自動車の性能もアップしています。

消防活動が一層スピードアップされることから有事に大きな威力を發揮するものと期待されています。

▲大琴地区に整備された積載車

おーくらんどにバスケット登場

蔵子供会親の会が手づくり事業で



▲バスケットリング完成に大喜びの子供たち

笑顔いっぱいの交流

東光苑でたのしみ会

の鳥寿苑のたのしみ会が九月六日、東光苑で行われ、約五十人がゲームを楽しみました。

東光苑ではこれまで、夏祭りや苑内の行事を通して永慶保育園と交流、一方、平成二年四月オープンの鳥寿苑とは、一年ごとに往来を重ね会場を変えて交流を深めて来ました。



▲おおにぎわいの的当てゲーム

蔵自治会の小、中学生の父兄で組織されている蔵子供会親の会（阿部茂会長）が、蔵農村公園「おーくらんど」にバスケットリングを整備、子供たちが歓声をあげながらバスケットボールを楽しんでいます。同公園は、平成五年七月に完成したもので、地区運動会やゲートボールなどに利用されています。

子供たちの要望で設置したバスケットリングは、町の地域手づくり事業を活用し、コンクリート基礎の上に木材で支柱を作り、バスケットリングを取り付けたものです。

八月二十日には、子供たちとその父兄約三十人が参加して、交流試合を行った後、竣工式を行いました。



▲あれ？この虫なんだろう

コイ100キロを川に放流

八塩小学校で九月八日、「川はぼくらのともだち」をテーマにした水辺の教室が行

われ、川の生物調査やコイの放流を行いました。

この教室は、県内水面漁業協同組合連合会と県水産振興センターの協力を得て行われたもので、四年生以上の児童七十七人が参加しました。

会場の沖田橋（田代）では、生物の調査方法の説明を受けた後、子供たちは一斉に川へ。川底の石を寄せて、石についている虫や川を流れてくる小さな生物を網ですくい、ルーペで観察、一つ一つ興味深そうに見入っていました。

その後、子供たちは、コイの稚魚百キロを放流、楽しいひときを過ごしました。



200人余りでにぎわう

民謡同好会発表会



祝 東由利町民謡同好会発表会

▲大にぎわいの発表会

有起くん(高瀬)が3位に
碧さん(八塩)が3位に

都市小学校水泳大会

工藤有起くん 第二十一回本荘市

市由利郡

小学校水

泳大会が

八月二十日、本

荘市民

プール

で行われ、

本町から

八塩小と

高瀬小が

出場しま

した。

町民謡同好会(遠藤真吉会長、会員三十人)の民謡発表会が九月十日、健康増進センターで行われ、民謡ファン二百人余りでにぎわいました。

当日は、地元会員のほか名古屋市遠友会、八塩芸能俱楽部、大琴カラオケ同好会、由利高校民謡部が応援に駆けつけました。

発表会では、遠藤寿々子さんの本荘追分を皮切りに、歌や踊り三十曲余りを披露、参観者からは盛大な拍手が送られていきました。同好会の遠藤会長は「会員の発表の機会として行っています。民謡ファンの方々に少しでも楽しんでもらえればうれしい」と話しています。

世界に1つの作品に歓声

120人が野焼きを楽しむ

第十九回全県野焼きを楽しむ集いが九月二十日、昨年に引き続き八塩いこいの森で行われ、町陶芸サークル耀幻会(小松幸子会長)

など約百二十人が古代の手法で焼き物に挑戦しました。この集いは、陶芸愛好者が焼き物の原点に触れ、陶芸技術の向上と愛好者同士の親睦を深めようと開いているもので、昨年の参加者から「これだけの規模で催しができる適地は県内でも珍しい」と好評を得ていたこともあり、同地で行われることになったのです。

野焼きは、屋外で土器を起くん(五年男子五十メートル背泳ぎ)と八塩小の佐藤碧さん(五年女子五十メートル自由形)が三位に入賞したのをはじめ、五年女子五十メートル平泳ぎで佐藤碧さんが四位に、六年女子五十メートル自由形で高瀬小の守屋桂子さんが六位に入賞しました。



▲次々と掘り出される作品

親子のふれあい深める

宿分館がボウリング大会

は九月十四日、親子のふれあいを深めようと本荘市で親子ボウリング大会を行いました。

今年はじめて行われた同大会には、親子連れ約五十人が出席。歓声をあげながらボウリングを楽しんでいました。



▲ボウリング大会の参加者。「来年もぜひ」との声が聞かれた

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS

町の宝もの

杉森の「こぶし」

42

写真のこぶしは樹高がおよそ二〇メートル通りの周囲三・六メートル、推定樹齢一六〇年以上の巨木で、杉森地内南側の墓地入口に生育しています。

こぶしは樹高が普通一〇メートル前後で、これだけのものは県内でもあまり例がなく、二ツ井町と協和町にあるのが知られている程度で、杉森のはこれらと十分に肩を並べられる貴重なものですが。



直前の形が子供のこぶしに似ています。ところからこの名があると言われています。（文・畠山昭一）

真っ白な花で、この花を見て種まきなど農作業の一つの目安にしたり、私たちの暮らしにとつて身近な花です。墓地入口に自生したのか、誰かが植えたのかわかりませんが、花の芳香と白無垢は亡くなつた人への想いと関係があるのかも知れません。なおつぼみが開くのかも知れません。なおつぼみが開く前の形が子供のこぶしに似ています。

（文・畠山昭一）

業り
林だよ
木材腐朽菌

木を腐らせる菌類の主役は木に生えるキノコです。木が枯れてから腐らるのが普通ですが、生きている木を腐らす菌類もあります。

カワラタケは枯れたナラやクリの幹や切り株に屋根瓦のように重なり群生します。世界中に分布しているキノコです。サルノコシカケは、ブナなどの大木の幹に着く堅くて大きな半円形のキノコです。多年生で一年一年と大き

「いい歯のお年寄り」に本町から3人

ハチマルニマル

県の「8020運動」の一環



▲小野民治郎さん



◆畠山文一郎さん



◆三浦ツタさん

成二年、厚生省と日本歯

8020運動

制度に、本町から小野民治郎さん（須郷田）、畠山文一郎さん（東光苑）、三浦ツタさん（同）の三人が選ばれました。

歯のけんこう

（ 笹本歯科医院、
 笹本幸先生）

（ 小野民治郎さん
 畠山文一郎さん
 三浦ツタさん）

子供に甘いものを与えないことは確かに虫歯の原因を遠ざけるには単純明快な良い知恵です。砂糖をとりすぎることは勿論身体に良くありません。しかし筋肉の疲労の回復や、情緒の安定を図るために一服のタバコ、お酒を一杯という身体的欲求には捨て難い何かがあるのではと考えます。

東京医科歯科大の志村助教授は、虫歯に対する「予防」も「治療」もその基本として「楽しく生きる人生をもつことにある」としています。いくら死ぬまで歯が丈夫でも、一生の間に歯に悪いからあれも駄目、これもいけないと制限し、毎日毎時食べたら磨けと迫いまくられたのでは

楽しい人生はどうなることかと案じられましょう。

人類が発生し文化の生活が高まるにつれて虫歯に悩まされてしまいましたが、それは習慣形成の定着にかかることがあります。虫歯の原因を遠ざけるには、虫歯に対する「予防」も「治療」もその基本として「楽しく生きる人生をもつことにある」としています。いくら死ぬまで歯が丈夫でも、一生の間に歯に悪いからあれも駄目、これもいけないと制限し、毎日毎時食べたら磨けと迫いまくられたのでは楽しい人生はどうなることかと案じられましょう。

人類が発生し文化の生活が高まるにつれて虫歯に悩まされましたが、それは習慣形成の定着にかかることがあります。虫歯に対する「予防」も「治療」もその基本として「楽しく生きる人生をもつことにある」としています。いくら死ぬまで歯が丈夫でも、一生の間に歯に悪いからあれも駄目、これもいけないと制限し、毎日毎時食べたら磨けと迫いまくられたのでは楽しい人生はどうなることかと案じられましょう。

人類が発生し文化の生活が高まるにつれて虫歯に悩まされましたが、それは習慣形成の定着にかかることがあります。虫歯に対する「予防」も「治療」もその基本として「楽しく生きる人生をもつことにある」としています。いくら死ぬまで歯が丈夫でも、一生の間に歯に悪いからあれも駄目、これもいけないと制限し、毎日毎時食べたら磨けと迫いまくられたのでは楽しい人生はどうなることかと案じられましょう。

お砂糖は心の薬

唾液の中には色々なものが含まれておりますが、その一つにS-IgAといふ抗体があります。実験の結果楽しい時やりラックスしている時にはこの抗体の分泌量が増え、逆に不安や恐れを感じている時は減少することが報告されています。

唾液の中には色々なものが含まれておりますが、その一つにS-IgAといふ抗体があります。実験の結果楽しい時やりラックスしている時にはこの抗体の分泌量が増え、逆に不安や恐れを感じている時は減少することが報告されています。

唾液の中には色々なものが含まれておりますが、その一つにS-IgAといふ抗体があります。実験の結果楽しい時やりラックスしている時にはこの抗体の分泌量が増え、逆に不安や恐れを感じている時は減少することが報告されています。

スポーツの秋、満喫

9月10、11日の両日は、各地で運動会や野球大会が行われました。爽やかな秋空に恵まれた両日、参加者はスポーツの秋を満喫、心地よい汗を流しました。

スナップでどうぞ。



▲手をつかっちゃダメだよ。口でパンをとらなくちゃ（写真・みどり保育園）

▲20人で2,000mを走るクラス対抗リレー。
さすがに第1走者は速い（写真・東由利中）



▲チームワークが決め手の20人なわとび
(写真・東由利中)



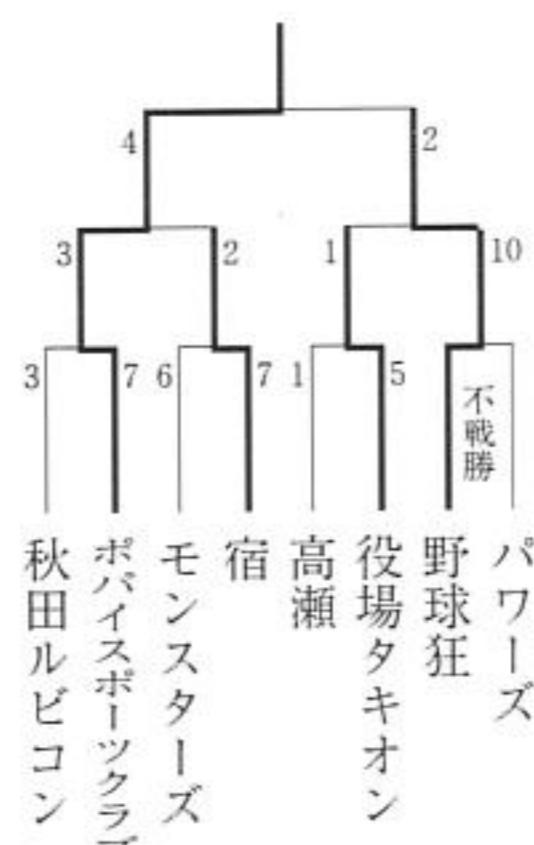
▲3人1組で旗をリレー。思うように走れず父ちゃんも一苦労（写真・みどり保育園）



▲おすまし顔の鼓笛隊。たいへんよくできました
(写真・永慶保育園)



▲精鋭8チームが熱戦を展開した秋季選抜野球大会



秋季選抜野球大会
ポバイスポーツ初優勝



▲おゆうぎもバッチャリ。いつ
しようけんめいがんばりました
(写真・永慶保育園)

いきいき、クローズアップ



わ☆
わが家の
アドトル☆

宇戸坂・菊地 咲樹ちゃん
(H.6・7・24日生まれ)

お父さん・賢悦さん
お母さん・文子さん

「寝ている時以外は、常に動いている活発な子。でもちょっと見知り。素直でやさしい子になってほしい」とお母さんの文子さん。

秋蟬の社を舞台に鳴きつくす
かばかりの分地水害水見舞
逆縁の喪の袖濡す萩の露
秋の雨庭に忘れた椅子ひとつ
出穂そろい老父すこやかなえびす顔
寶戸抜けて咲く花もあり一ツ三ツ
思い出の母の裾ひく秋袴
七日盆終え孫一人残りけり

東由利の文芸

せせらぎ句会(九月句会)

小野石蕗子(上里)
佐藤高橋ヒデ子(横渡)
工藤忠正(山崎)
小笠原亮子(藏新田)
小松順之助(中通)
小笠原亮子(藏新田)

一叢の萩咲く庭や名古利
秋晴れにウインクしている測量師
折鶴もととめ良夜の菓子舗かな
人の世の明暗まみえ虫すだく
ミニトマトお日様恋し背を伸ばす
若く死に今生きつぐや懶祭忌
行き摩りのもうう野草や敬老日
穂がみのり未の暁もちらほらと
あれこれと萩もぐくりて清掃日
葛の花せせらぎに映し美競う

嵯峨義之(中通)
嶽石レイ(五海保)
小野貞子(藏新田)
小松常作(湯出野)
阿部俊子(横渡)
大庭喜右工門(舟木)
阿部澄子(藏)
小松徳藏(湯出野)
遠藤トミ子(小倉)
小笠原トミ(藏新田)

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 献血で感謝状が贈られた本荘高校下郷分校。誰からもらったんだっけ?

①県知事②運輸大臣③厚生大臣
(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出しください。▼宛先/東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切/10月14日(当日消印有効)▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は②70.66%でした。応募してくれた6人のうち抽選で次の5人に写真盾をプレゼントします。△佐々木賢さん(大琴)△畠山積さん(江戸川区)△大場和子さん(品川区)△畠山春美さん(大吹川)△三浦喜一さん(矢島町)。応募ありがとうございました。



麻生節雄さん
(五海保・20歳)

秋田ルビコン(株)勤務
血液型・A型

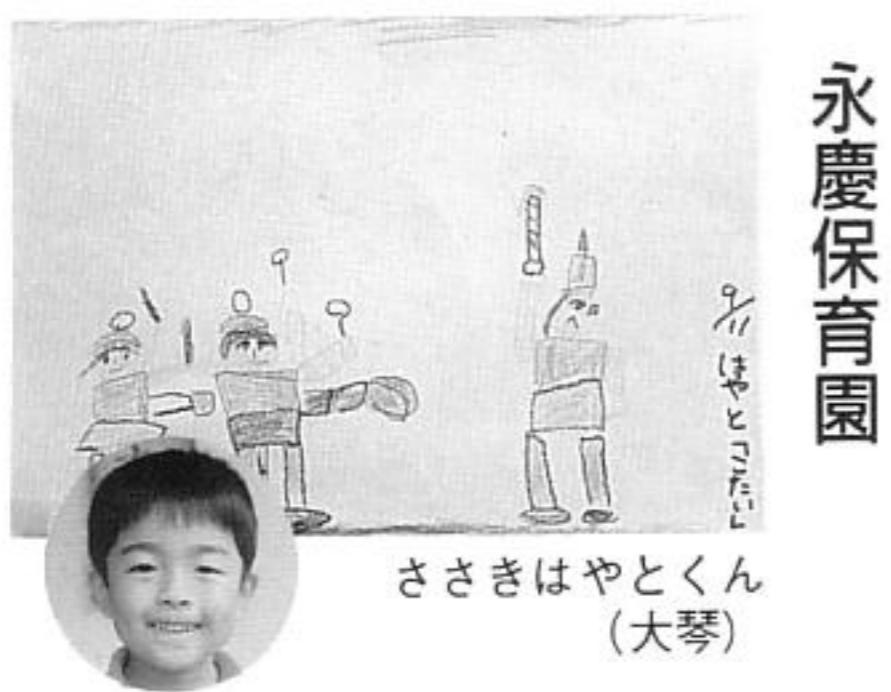
「県外に出ようとも思わず、高校のところから町内で仕事をしようと決めていた。将来もこの町で暮らしたい」と話す節雄さん。秋田ルビコン株式会社第一工場で小型コンデンサの製造を担当しています。「最初の二、三ヶ月は、三交替など、会社の環境に慣れるため苦労も多かったが、今ではすっかり慣れた。忙しい毎日だが充実している」

物園まで連れて行つもらつたうれしそう。「たまには家族サービスしないとね」と照れながら話す節雄さん。車のほかにラオケにボウリングと多くの趣味をもっています。スポーツも大好きで、秋田ルビコン野球部に所属しています。

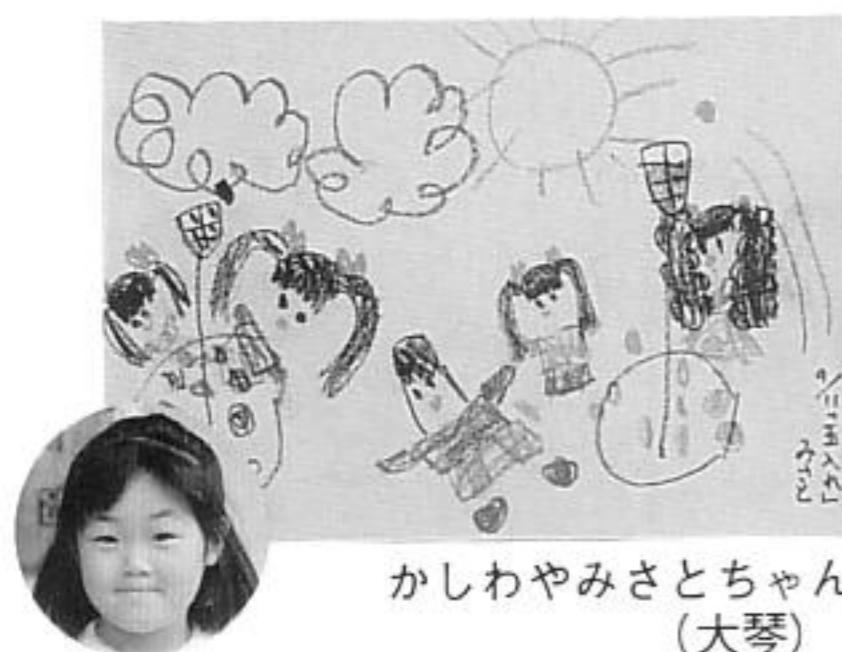
「若いうちにたくさん旅行してみたい。将来のために積立てはじめました」と話すしっかり者の節雄さんでした。

次は、同級生の遠藤弘幸さんにリレーします。

みんな集まれ！タウン



うんどうかい ぼくの絵 わたしの絵



やま 塩 かわ 八 と 鳥 の 自然 に 学 ぶ



▲“全 H7. 力”の花文字



▲1人1鉢運動の成果



▲おじさんやおばさんの協力も大きい

校庭全体が花ばたけ

高瀬小では、学校緑化運動を中心、「自然とのふれ合いを通して豊かな感性を育てる」を大きなテーマに環境教育に取り組んでいます。

学校の敷地には、サルビア、マリーゴールドなど十種類以上の花、約一万株が植えられています。全校児童の一人一鉢運動をはじめ、各学年ごとにテーマを決めて花の栽培に取り組んでおり、特に、六年生はマリーゴールドで花文字に挑戦。平成四年度から続けられており、「栄光」

同小は、県学校緑化コンクールでも高い評価を得ており、平成五年度には県教育長賞、六年度には秋田営林局長賞を受賞しています。東海林光哉教頭は「学校全体が花畠のイメージ。子供たちが草花を大事にしよう」という気持ちになってきたのが大きな成果」と話しています。

「朋友」「団結」に続き今年は「全力」。何事にも全力で取り組もう」と子供たちが中心になりました。花壇の整備が行われています。

ハイスクール○日記

愛郷祭まであとひと月



下郷分校文化委員長
小野真木子さん

去年に引き続き、
愛郷祭の名称のも
と、十一月三日(水)
に私たちの学校祭
(一般公開)を行います。
私たちの学校は全校生徒八三
人とともに小さな学校です。で
すから、他校と比較すると学校
祭も盛り上がりに欠ける所があ
るかもしれません。しかし、私
たちなりに活気ある華やかなも
のにするために、ひとりひとり
の持てる力を最大限に發揮し、
見に来ていただいた人に満足し
てもらえる学校祭を目指してい
ます。

そのためには、前回までの学
校祭の反省点を改善し、良い点
は、より一層良いものにするよ
う心掛けてゆこうと思います。
そして、全校生徒が納得のいく
最高の学校祭を開催できるよう
学校全体が一丸となつて頑張っ
ていこうと思います。
「愛郷祭」……故郷。そして
私たちの学校を愛する祭典。
学校祭当日まで、まだ一ヶ月
程ありますが、一生懸命努力し
皆さんに来ていただいても、恥
かしくない学校祭を創つていき
たいと思います。ぜひ当日はお
越しください。



アキノウナギツカミ (タテ科)

文・写真 小松忠正

東由利
郷土の野草

No. 128

| | | | | | |
|---------------|-------|---------|-----|----|-----|
| 佐々木 | 未 | 来ちゃん | 静子 | 久子 | 須郷田 |
| 梅津 | 翔 | 吾くん | 洋子 | 彦子 | 大琴 |
| 八嶋 | 匡 | 介くん | 和人 | 惠子 | 黒渕 |
| 小松 | 聰 | 子ちゃん | 紀子 | 明子 | 大琴 |
| 榎野 | 善健さん | 鳥海町 | 八日町 | | |
| 榎野 | 寿保子さん | 下小路 | | | |
| ご結婚おめでとう | | | | | |
| ごめい福をお祈りいたします | | | | | |
| 長谷山英士さん | (57信) | 子夫 | 時雨山 | | |
| 小野弥悦郎さん | (41) | 弥右エ門・長男 | 上里 | | |
| 千葉覚太郎さん | (90) | 覚父 | 島 | | |
| 佐藤 博さん | (69) | ミネ子夫 | 寺田 | | |
| 石渡 義明さん | (53) | タセ夫 | 藏新田 | | |
| 遠藤 良蔵さん | (77) | ハナ子夫 | 新処 | | |
| 阿部マサノさん | (91) | 高橋ヒデ子母 | 横渡 | | |
| 佐藤茂治郎さん | (77) | タケノ夫 | 下小屋 | | |

A photograph of a collection of ornate Easter egg decorations. In the center is a large, multi-layered egg with intricate gold and white patterns. Surrounding it are several smaller eggs, some on stands, some in bowls, all featuring various designs like stripes, dots, and floral motifs. The eggs are arranged on a dark wooden surface against a green background.

カラ
ナップ

ほつと
ひとりき

勤労者野球場。小、中、高校はもちろん、社会人野球の県大会など数多くの公式戦が行われています。

私が、町野球協会事務局を担当して今年で三年目。いろいろな大会の裏方を担当して、一番うれしいのが「すばらしい球場ですね。裏方も大変でしょうが頑張ってください」の一言。去年から今年にかけては由利郡野球協会の手伝いなどもあり、球場に足を運ぶ日がいつもより多く、忙しい休日を過ごしました。そんな今年も秋の選抜大会が終わり一段落。一緒に頑張った仲間とともに、思わず「ほつとひといき」の九月でした。

10月→データ東由利

〈8/1~8/31〉

人口 () は前月比

- 男……………2,685人 (4)
 ■女……………2,814人 (△5)
 ■計……………5,499人 (△1)
 ■世帯数……………1,409戸 (—)

() は 1 月からの累計

- 出生… 3 人 (23) • 死亡… 6 人 (39)
 - 転入… 12 人 (66) • 転出… 10 人 (78)

- 火災出動…………… 1件(1)
 - 救急出動…………… 14件(88)
 - 交通事故…………… 3件(16)
 - 死亡…………… 0人(1)
 - 傷者…………… 1人(10)
 - 飲酒運転…………… 0人(1)
 - 酒気帯び…………… 0人(0)

10月の行事 カレンダー

- | | |
|-------|---|
| 15 | 第35回奥羽横断駅伝競走大会（通過予定期・JA玉米支所前10時30分、JA大琴支所前10時55分） |
| 15~21 | 行政相談週間 |
| 18 | 行政相談（13:00~16:00・玉米会館） |
| 20 | 々（13:00~16:00・老方館） |
| 20 | 東由利町・大内町合同海外研修出発（~30日・欧州） |
| 22 | 町スポーツ祭（ラージボーラー卓球、グラウンドゴルフ） |
| 22 | 東光苑文化祭 |
| 29 | 東由利音楽祭（13時・東由利中体育館） |

町社会福祉協議会に、駒井エチヨさん（新町）、阿部コシさん（横渡）からご芳志が届けられました。広報送付の謝礼として、佐々木栄男さん（所沢市在住、大琴出身）、工藤秀晃さん（新庄市在住、野田出身）、千葉浩右さん（北海道在住、黒沢出身）、小松キエさん（足立区在住、中通出身）から金一封が届けられました。ありがとうございました。

ମୁଦ୍ରଣ